



位置図

S=1:100,000



玉山村

令和8年度
落合橋補修工事
市道 芦原平芋野線

田老総合事務所

新里総合事務所

山田町役所

川井総合事務所

盛岡市

川井

山田町

遠野市

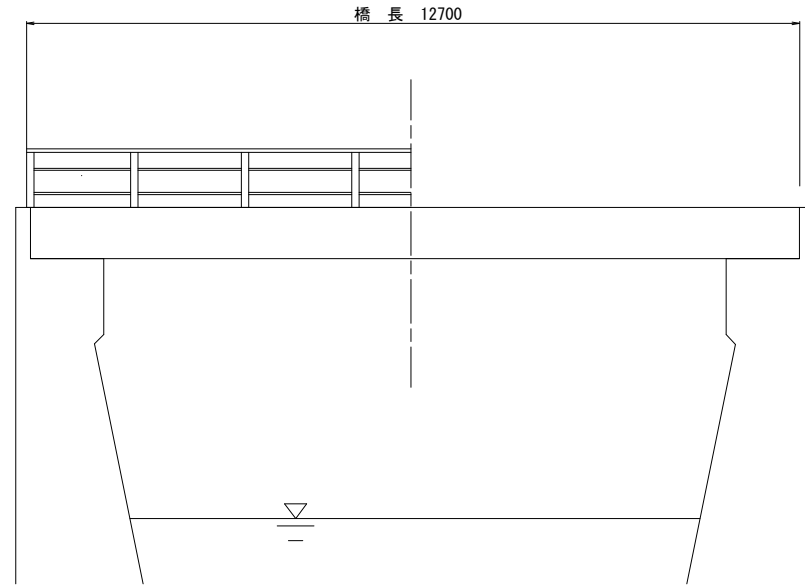
大穂町

山田町

落合橋 現況一般図

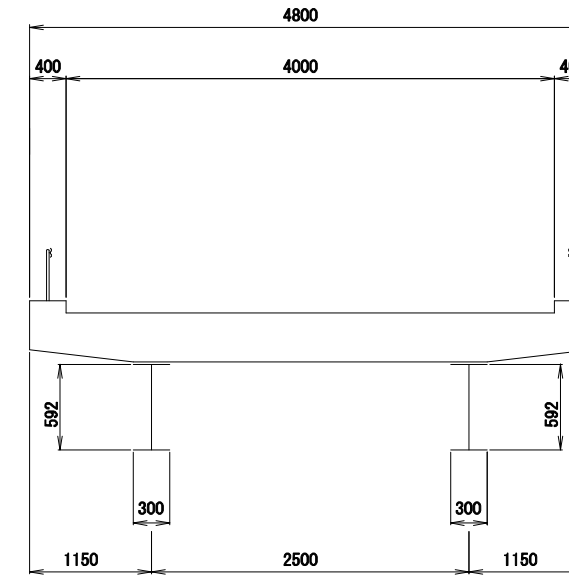
側面図

S=1:50



断面図

S=1:30



平面図

S=1:50



橋梁諸元

橋名	落合橋 (おちあいばし)
路線名	市道 芦原平芋野線
位置	岩手県宮古市田代第13地割 地内
橋長	L=12.7m
斜角	不明
全幅員	W=4.800m
有効幅員	W=4.000m
横断勾配	↙ 0.5% 0.5% ↘
舗装	コンクリート舗装
上部工形式	鋼桁橋
下部工形式	重力式橋台
基礎工形式	直接基礎
竣工年月	昭和46年 (1971年) ※55年経過
適用基準	昭和31年 鋼道路橋設計示方書
設計荷重	10 t
交差物件	亀ヶ沢川 (河川管理者: 宮古市)



(特記事項)

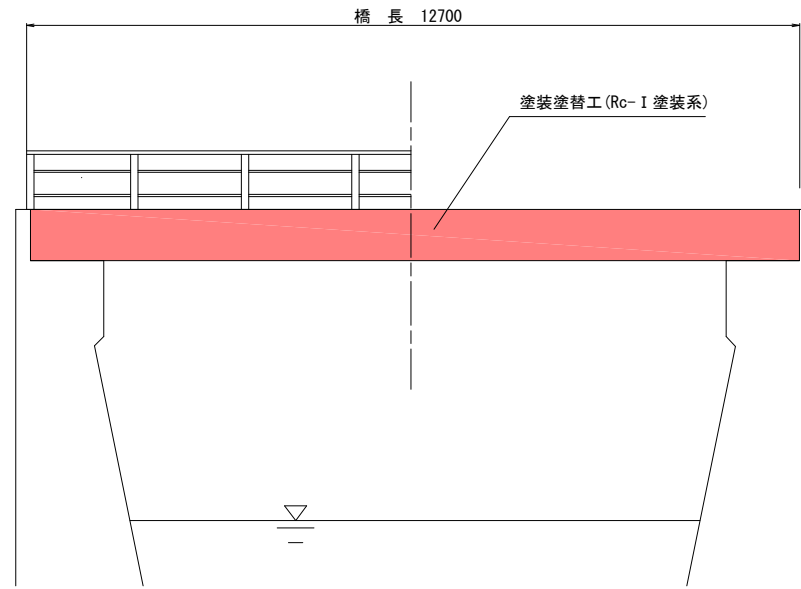
1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往の図面及び実測結果を基に復元したものである。
2. 施工関連諸寸法は、調査把握の上、最終決定すること。

宮古市都市整備部建設課	
市道 芦原平芋野線	宮古市田代第13地割 地内
全 4 枚ノ中 其 1	現況一般図
令和 8 年度	
落合橋補修工事	
縮尺	図示

落合橋 補修一般図

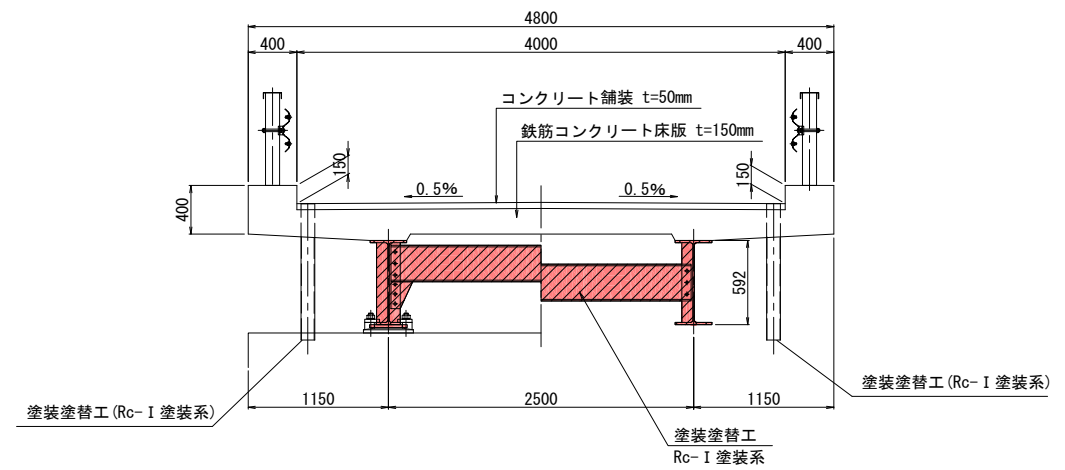
側面図

S=1:50



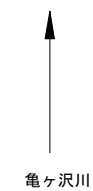
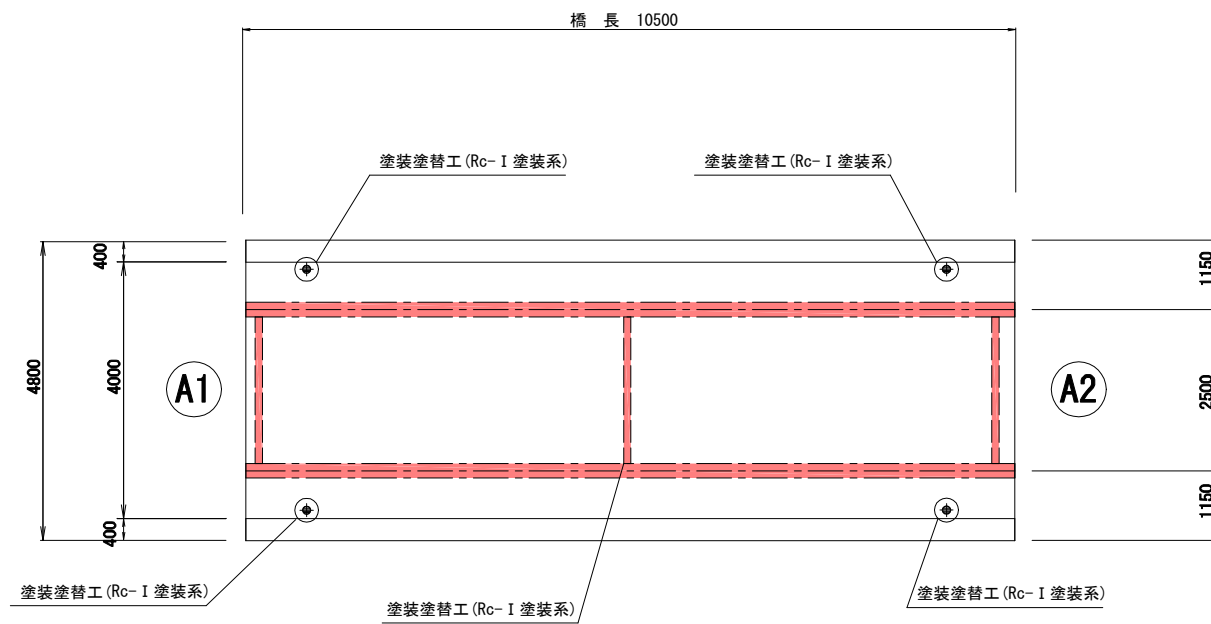
断面図

S=1:30



平面図

S=1:50



補修項目一覧表

	部 位	工 種
上部工	主桁	塗装塗替工 (Rc-I 塗装系)
	横桁	塗装塗替工 (Rc-I 塗装系)
その他	排水管	塗装塗替工 (Rc-I 塗装系)

橋梁諸元

橋 名	落合橋 (おちあいばし)
路 線 名	市道 芦原平芋野線
位 置	岩手県宮古市田代第13地割 地内
橋 長	L=12.7m
斜 角	不明
全 幅 員	W=4.800m
有効幅員	W=4.000m
横断勾配	0.5% 0.5%
舗 装	コンクリート舗装
上部工形式	鋼桁橋
下部工形式	重力式橋台
基礎工形式	直接基礎
竣工年月	昭和44年3月 (1971年) ※55年経過
適用基準	昭和31年 鋼道路橋設計示方書
設計荷重	10 t
交差物件	亀ヶ沢川 (河川管理者: 宮古市)

(特記事項)

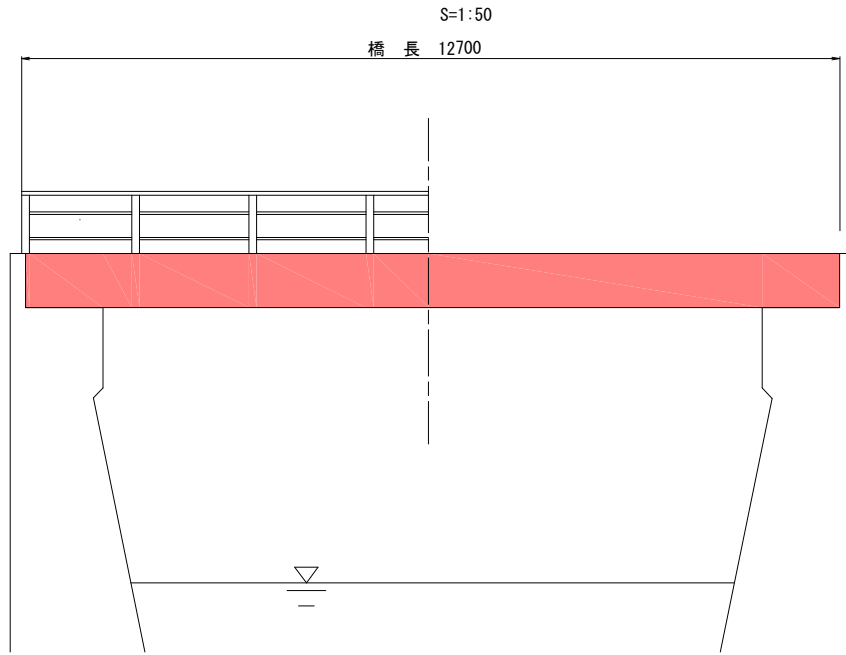
1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往の図面及び実測結果を基に復元したものである。
2. 施工関連諸寸法は、調査把握の上、最終決定すること。

宮古市都市整備部建設課	
市道 芦原平芋野線	宮古市田代第13地割 地内
全 4 枚ノ中 其 2	補修一般図
令和 8 年度	
落合橋補修工事	
縮 尺	図 示

落合橋 鋼部材再塗装工図 (その1)

〈主桁・横桁・排水管〉

側面図



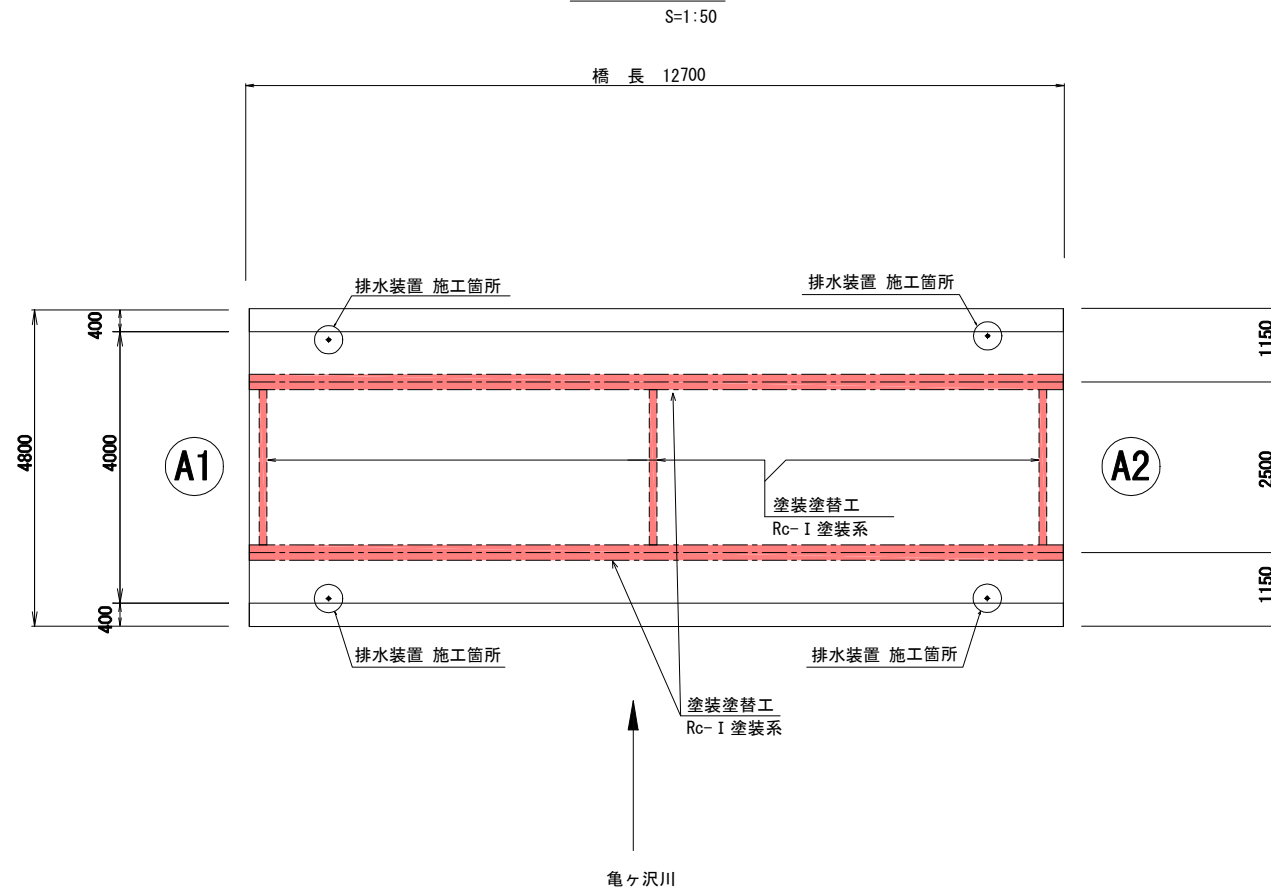
〈塗装塗替工 (Rc-I 塗装系)〉

主桁 (N=2)
1-UFLG PL 300×20×12700
1-WEB PL 552×13×12700
1-LFLG PL 300×20×12700

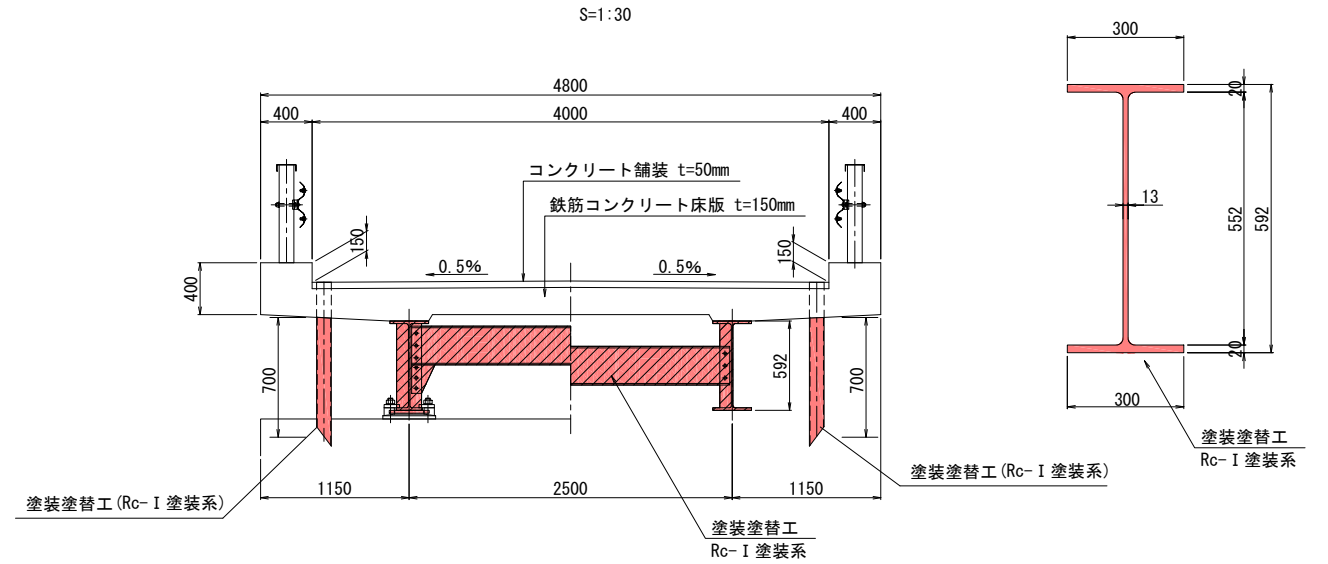
端横桁 (N=2)
1-CH 250×90×9×13×2500
2-GUSS PL 210×9×150

中間横桁 (N=1)
1-CH 250×90×9×13×2500

平面図



断面図

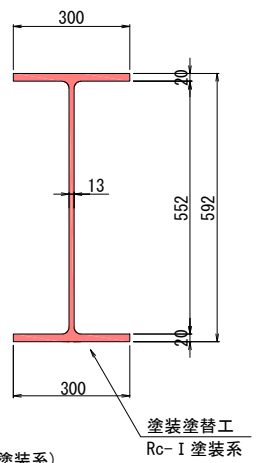


〈塗装塗替工 (Rc-I 塗装系)〉

排水装置 (N=4)
1-PIPE φ114.3×4.5×700

主桁詳細

S=1:10



Rc-I 塗装系 (スプレー)

循環式プラスト工法相当以上

(循環式プラスト工法 NETIS登録番号:KT-230028-A 建審証第2201号)

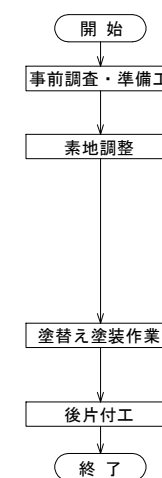
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	標準膜厚 (μm)	塗装間隔
素地調整	1種			4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	75	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	60	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	60	1日~10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	170	30	1日~10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	25	1日~10日

※1:原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更もできる。

※2:現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。

※3:プラスト処理による除せい度ISO Sa 2 1/2とする。

施工手順



・施工に先立ち、現地調査より現場状況を把握し施工計画を行い、併せて必要協議の手続きをする。

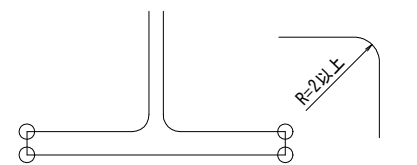
・素地調整程度1種を行う。
素地調整は、プラストを原則とする。
腐食、発錆している部分の錆を除去するとともに、旧塗膜の活膜上の付着物等も完全除去する。
素地調整によって生じた旧塗膜のケレンダストは、有害物を含んでいることが多いので、周辺の土壌や河川を汚さないように十分留意するとともに、その廃棄は適切に行う。

・塗装は、スプレー塗りとする。
塗装は素地調整終了後、同日中に必ず下塗りまたは補修塗りを行う。
塗り重ねは、前工程の塗膜が十分乾燥してから行う。

(特記事項)

1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往の図面及び実測結果を基に復元したものである。
2. 施工関連諸寸法は、調査把握の上、最終決定すること。
3. 再塗装の色は監督職員と協議して決定すること。

エッジ部曲面仕上げ



※ エッジ部は膜厚が確保されにくいことから、一般部と同等の塗膜性能を確保するため2R以上の面取りを行い、曲面仕上げとすること。

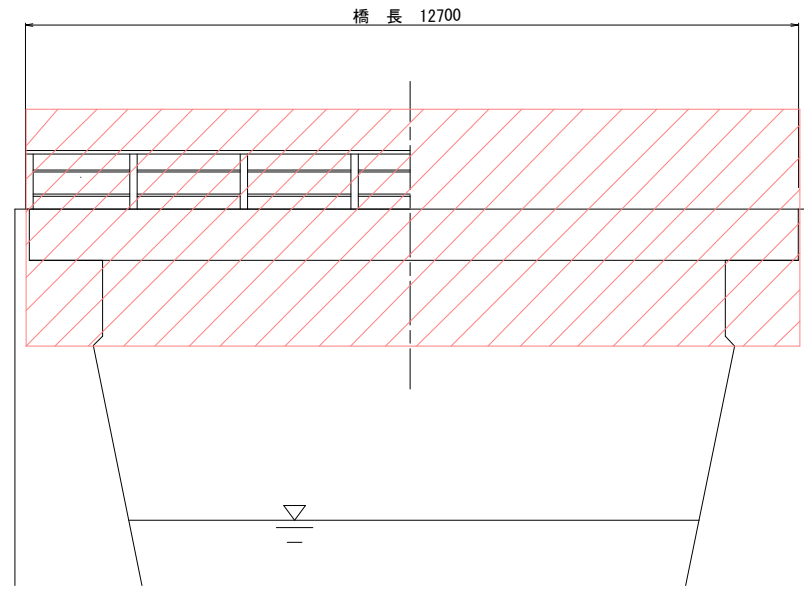
宮古市都市整備部建設課

市道 芦原平芋野線	宮古市田代第13地割 地内
全 4 枚ノ中 其 3	鋼部材再塗装工図 (その1)
令和 8 年度	
落合橋補修工事	
縮尺	図示

落合橋 仮設計画図 (案)

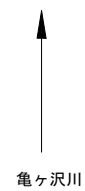
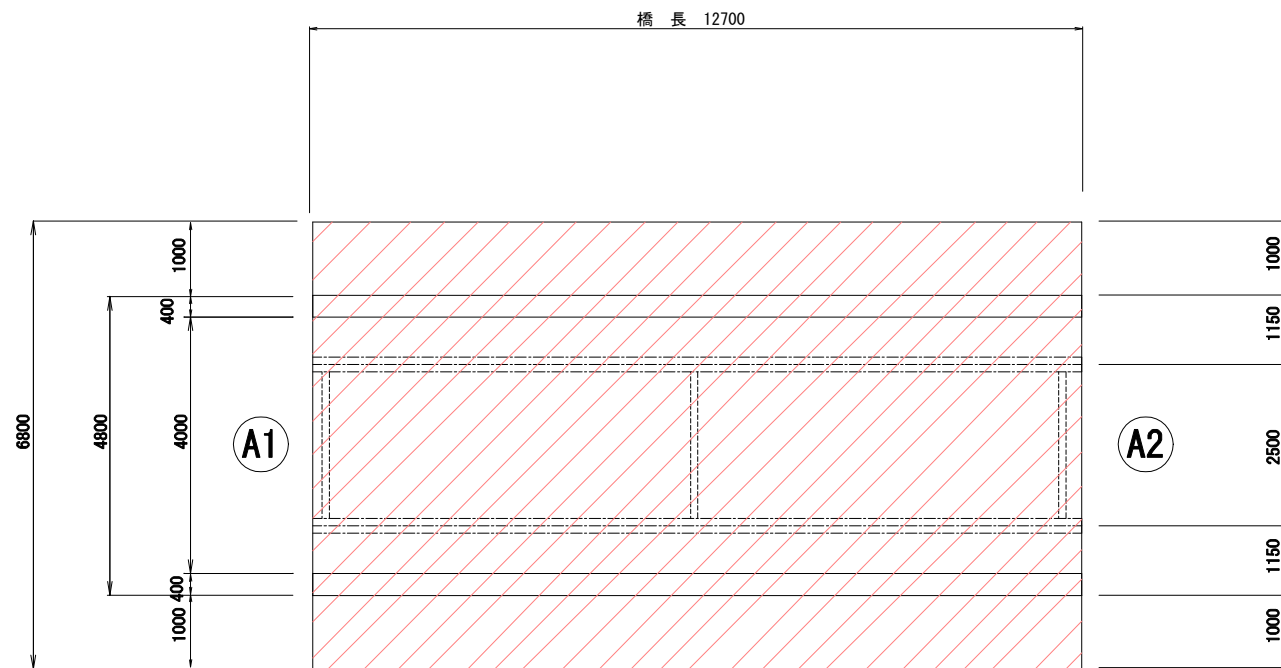
側面図

S=1:50



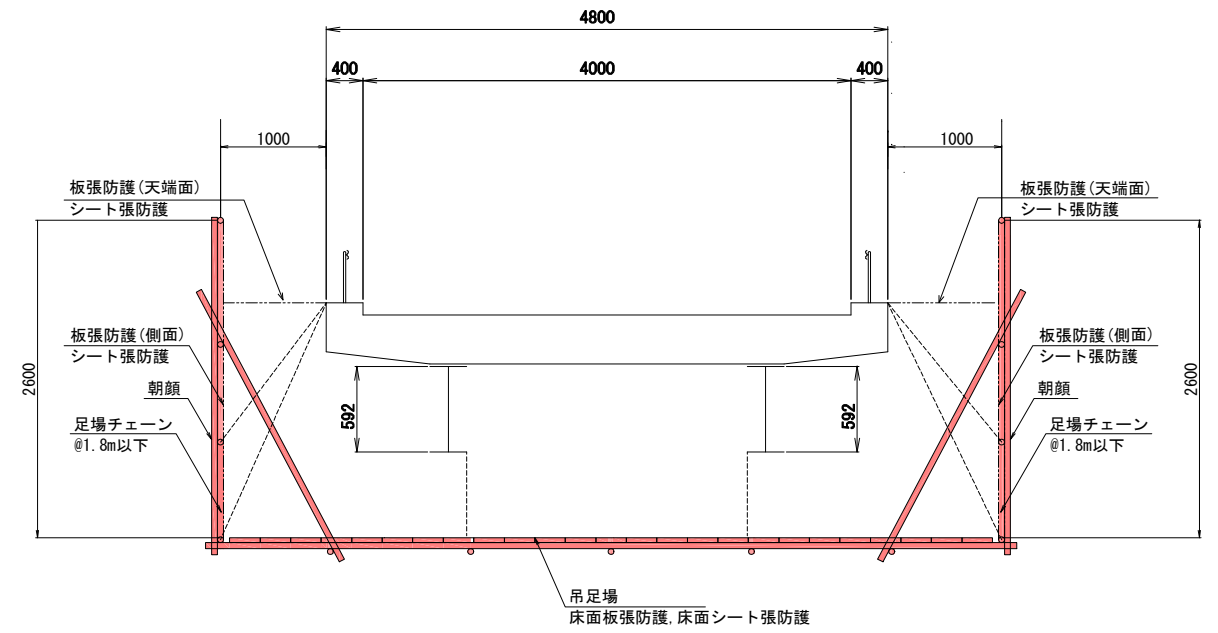
平面図

S=1:50



断面図

S=1:30



※プラスト施工時はプラト養生シートを設置する。

施工フロー



宮古市都市整備部建設課	
市道 芦原平芋野線	宮古市田代第13地割 地内
全 4 枚ノ中 其 4	仮設計画図 (案)
令和 8 年度	
落合橋補修工事	
縮尺	図示